



－ 記者発表資料 －

令和 4 年 3 月 2 5 日

日本下水道事業団

**クリーンピア千曲の災害復旧事業が完了
～処理場機能の完全復旧～**

日本下水道事業団（本社：東京都文京区湯島、理事長：森岡泰裕、以下「JS」という）が、長野県より委託を受けた、「長野県千曲川流域下水道下流処理区終末処理場（愛称：クリーンピア千曲）」の災害復旧事業が、本年 3 月をもって完了いたします。

クリーンピア千曲は、令和元年東日本台風に伴う千曲川の堤防決壊により水没し、処理場の機能が全停止する大きな被害を受けた施設で、令和元年度から令和 3 年度にかけて、JS が発注した災害復旧工事は機械、電気、建設工事の各工事で全 2 0 工事、事業費は約 146 億円となります。

JS は、被災直後から国土交通省及び長野県と連携し情報の収集を行うとともに、長野県から災害復旧支援の要請を受け、被災状況の調査、災害査定、応急仮復旧工事、災害復旧工事の設計及び工事監理を行いました。

被災直後、クリーンピア千曲の復旧は、大量に堆積した土砂、汚泥、ヘドロの除去から始まりましたが、それは硫化水素との闘いでもありました。その後、使用可能な既存の機械や既製品を活用するなどして仮復旧を行い、最低限の機能を確保したのち、順次処理場の機能を復旧させ、令和 2 年度末には、水処理系列の設備が復旧し流入汚水の全量処理を再開させました。

そして令和 3 年度は、電気設備の仮設から本設設備への段階的な切替工事や汚泥焼却設備の復旧工事などを進めました。こうして完了を迎えるクリーンピア千曲の災害復旧は、JS がこれまで培った災害復旧のノウハウが結実したものであります。

本件災害復旧事業にご協力をいただきました関係各位の皆様に深くお礼を申し上げます。（裏面に参考資料あり）

【お問い合わせ先】

日本下水道事業団
関東・北陸総合事務所
次長 松井田 浩之
TEL：03-3818-1211

参考資料 JS の災害復旧支援の状況

被災状況（長野県提供）



令和元年 10 月 13 日空撮

情報収集と支援方針の決定



災害対策本部会議（JS 本社）

被災状況の調査



水処理曝気用送風機



管理棟 1 階電気室

早期に処理場の機能を復旧させるための仮復旧工事



水処理曝気用の仮設送風機



汚泥処理用の仮設汚泥脱水機

参考資料 災害復旧完了の状況

水処理施設



被災直後の場内



現在

管理棟電気室



被災直後の電気室（1階）



2階に電気設備を復旧

汚水ポンプ室（水没）



被災直後



復旧完了

沈砂池室（水没）



被災直後（汚泥、ヘドロの堆積）



復旧完了

送風機室



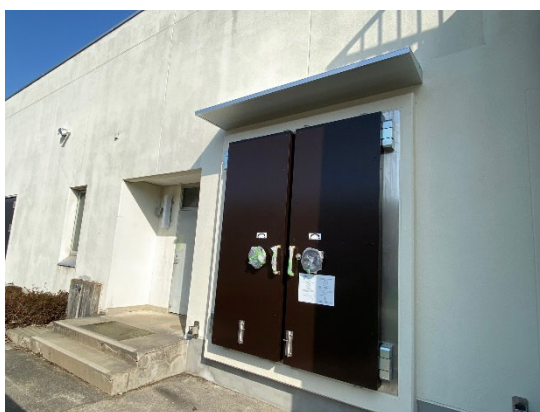
被災直後



復旧完了

【参考】

放流ポンプ棟に設置した防水扉



再度災害の防止のため、災害復旧工事
と耐水化工事を同時施工

壁際にずらりと並ぶ完成図書



災害復旧工事の完成検査風景
1 工事で完成図書が百冊を超えるもの
もあります